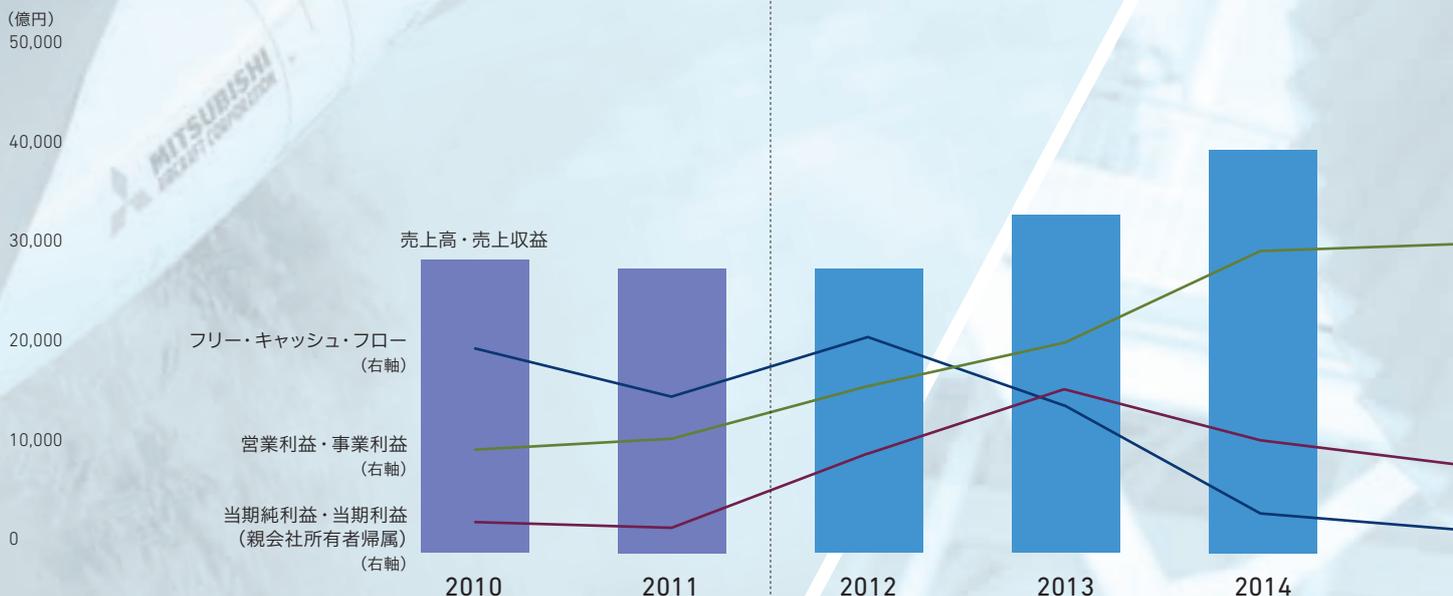
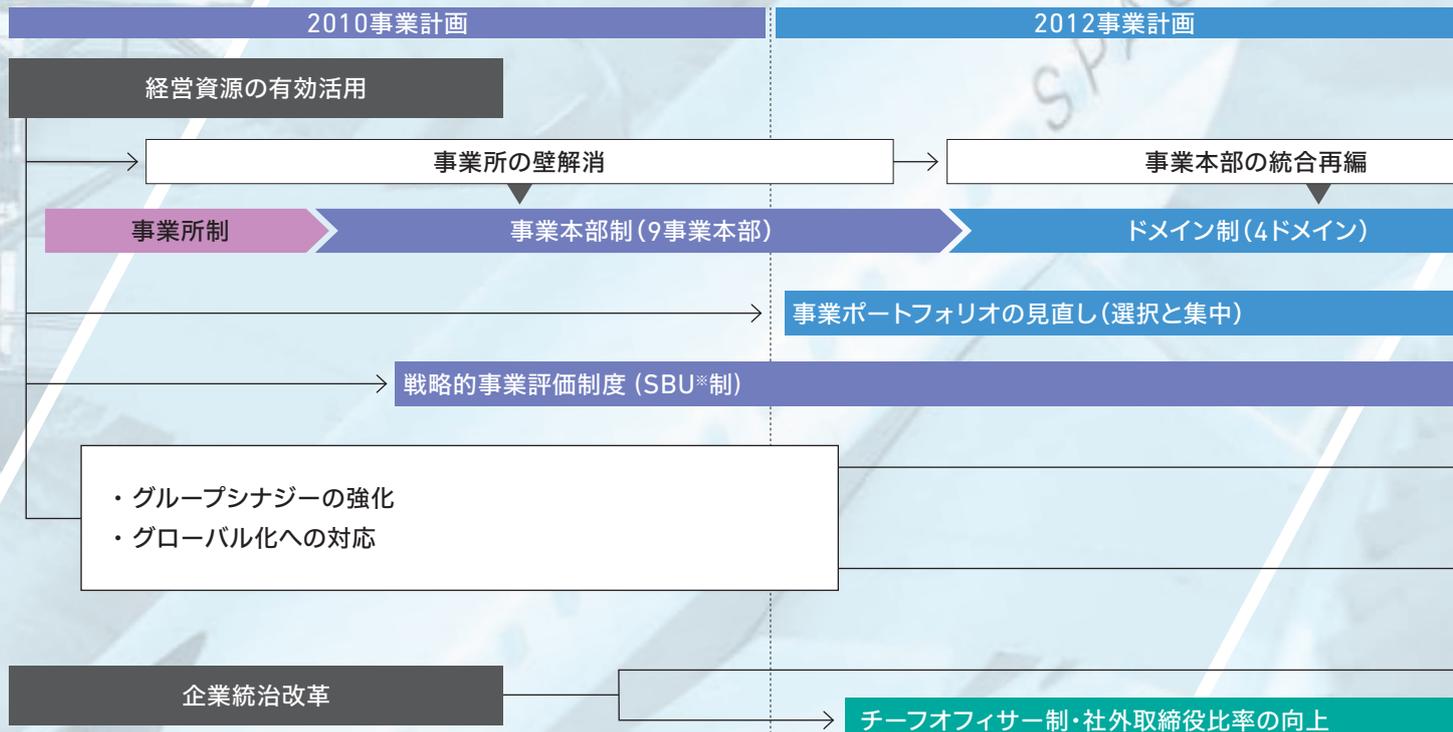


＞ 近年の構造改革

三菱重工グループでは、2010事業計画以降の事業構造改革によって、事業所制からSBU※を軸とするポートフォリオ経営への移行を進め、事業の選択と集中を強力に推進しました。また、キャッシュ・フロー経営への移行とそれに伴う財務基盤の強化によって成長を追求するための体力を整えつつ、



グローバル対応力の強化に向けた企業風土と仕組みづくりにも積極的に取り組んできました。

2018事業計画は、当社グループの未来のあるべき姿に向けて、グローバル水準の持続性と成長力を有する企業体力を実現していくための3カ年計画です。その最初の1年である2018年度では、これ

までの経営改革が定着し、成果となって表れています。これからも改革の成果をさらに定着させるとともに、本計画のさらに先にある未来を強く意識し、持続的な成長軌道のための歩みを進めていきます。

※ SBU: Strategic Business Unit (戦略的事業評価制度における事業単位)

